

◇国内シンポジウム With / After コロナにおけるやんばるの産業

日時	プログラム内容
2021年3月13日（土） 14：00～16：00	With / After コロナにおけるやんばるの産業 <プログラム> 司会 仲尾次 洋子（名桜大学国際学群長） 開会挨拶 砂川 昌範（名桜大学長） ファシリテーター・閉会挨拶 林 優子（名桜大学副学長） 第1部「コロナ禍における企業の取り組みと今後」 第2部 パネルディスカッション「With/After コロナにおけるやんばるの産業」 【シンポジスト】 安村 弘充 氏（有限会社勝山シークワサー 代表取締役） 平良 昭 氏（オリオンビール株式会社 常務執行役員） 城間 秀幸 氏（やんばる物産株式会社 代表取締役）

令和2年度 名桜大学環太平洋地域文化研究所 シンポジウム

With/After コロナにおける やんばるの産業

やんばる地域は、地方中小都市としての機能を果たした環状市を中心として、沖縄経済事業や仕向産業の発展により産業基盤が強化され、観光リゾート産業、金融・情報通信関連産業等の振興、生活環境の整備による定住条件の整備が図られてきました。しかし、所得水準は県内で最も低く、完全失業率も高いなど、地域の特長的な発展には異なる産業の振興が必要とされています。そのため、産業振興を促す目的として、名桜市は平成26年に経済金融活性化特別地区として指定されました。経済金融活性化特別地区は、「従来の金融振興特別地区を段階的に解消し、対象産業を金融産業から多様な産業へと拡げることで、実体経済の基盤となる産業とそれを支える金融産業等によって沖縄における経済金融の活性化を図るために、これまでの制度を抜本的に拡充する形で創設」されました。令和3年1月末現在の進出企業数は48社、1222名の従業員が雇用されています。このような現状を踏まえ、名桜大学経営専攻に所属する教員の教育活動およびやんばる地域を対象とした調査・研究活動の成果をブックレット『やんばるの産業』にとりまとめました。そこで、本シンポジウムでは、ブックレットにおいてやんばる企業の経営事例として取り上げた農業、製造業および小売・サービス業の代表者をお招きし、アフターコロナを見据えたやんばる地域の発展に資する産業の今後を考えていきたいと思います。

2021.3/13⁺
14:00～16:00

開催方法/オンライン(ZOOM)


<https://us06gmeu5j9759c9996627pw0-wgk12v1p0n1tm1g1uf800n1tc0x25e106>

挨拶: 砂川 昌範 (名桜大学学長)
 司会: 仲尾次 洋子 (名桜大学環太平洋地域文化研究所長)
 ファシリテーター: 林 優子 (名桜大学副学長)

シンポジスト

安村 弘充 氏 (有限会社勝山シークワサー 代表取締役)
 平良 昭 氏 (オリオンビール株式会社 常務執行役員)
 城間 秀幸 氏 (やんばる物産株式会社 代表取締役)

参加費無料
 【一般市民】
 【名桜大学学生】
 【教職員等】